

(別添 3)

福岡県大牟田市 校務 DX 計画

現在、学校を取り巻く環境は、グローバル化や高度情報化により複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大するとともに、様々な教育課題への対応が求められています。これまでに、校務支援システム、一斉メール配信システムや保護者との出欠連絡等をおこなうツール、教員の出退勤を客観的に把握するためのシステムの導入を行ってきました。

1人1台端末の導入後は、全教職員・児童生徒への Google アカウントの配布を行い、アンケートの実施や資料の共有などでクラウドサービスの活用を図り、教育の質向上と教職員の負担軽減を図ってきましたが、より教育環境全体の質の向上を目指すため、「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検結果等を踏まえ、以下の取組を推進していきます。

◇校務支援システムの機能拡充

本市では、平成 22 年度から校務支援システムを導入していますが、学籍、成績、グループウェアが主な利用機能となっており、全体の機能の一部に限られたものになっています。今後、事務の効率化、ペーパーレス化を推進していくために、押印廃止やペーパーレス化の検討を行い、校務支援システムの利用機能を拡充することを目指していくと共に、次回更新時（令和 11 年度）にパブリッククラウド化への移行の検討や県の共同調達の動向を見ながら、次期校務支援システムの導入に向けた準備を進めていきます。

◇校務系・教育系ネットワークの一元化

現在教育系ネットワークはローカルブレイクアウト形式での接続となっており、校務系ネットワークのセンター形式と違う形での管理・運用になっています。また、校務系は専用回線を使用し、作業が職員室の校務系端末に利用が限定されたものになっており、課題となっています。今後、教職員の利便性を高めるため、セキュリティ対策に十分考慮しながら、ゼロトラスト環境の構築に向けた検討を行い、ネットワークの一元化に取り組んでいきます。